

## 卒業生研究活動報告

松尾 文子

〔論文〕

『but の用法：「否定」の概念の展開』（『英語表現研究』第 20 号 日本英語表現学会 2003 年 6 月 1 日）

〔口頭発表〕

『否定の yes-no 疑問文で表される話し手の態度』（英語語法文法学会第 11 回大会 2003 年 10 月 25 日）

倉恒 澄子

〔口頭発表〕

知識の木の周辺（シンポジウム「ミルトンと古代世界」日本ミルトンセンター第 28 回研究大会 2002 年 10 月 19 日）

前川 貴子

〔論文〕

*The Skin of Our Teeth* の喜劇的役割について（『言語文化研究』第 10 号 2003 年 3 月 22 日）

須賀 照代

〔翻訳（共訳）〕

ユージーン・オニール 一幕劇「カーディフさして東へ《Bound East for Cardiff》」高山吉張・須賀昭代・栢木敦子共訳（『甲南女子大学英文学研究』第 39 号 2003 年 3 月）

ユージーン・オニール 一幕劇「交戦海域にて《In the Zone》」高山吉張・須賀昭代・栢木敦子共訳（『甲南女子大学英文学研究』第 40 号 2004 年 3 月）

〔著作（共著）〕

『未来へのヴィジョン—英文学の視点から—』（英潮社 2003 年 10 月）

栢木 敦子

〔翻訳（共訳）〕

ユージーン・オニール 一幕劇「カーディフさして東へ《Bound East for Cardiff》」高山吉張・須賀昭代・栢木敦子共訳（『甲南女子大学英文学研究』第 39 号 2003 年 3 月）

ユージーン・オニール 一幕劇「交戦海域にて《In the Zone》」高山吉張・須賀昭代・栢木敦子共訳（『甲南女子大学英文学研究』第 40 号 2004 年 3 月）

荻原 裕子

〔辞書執筆〕

『ウィズダム英和辞典』（三省堂 2002 年 12 月）

米川 聖美

〔口頭発表〕

キーツのオードに関する一考察 「夜鶯」、「古甕」、「憂鬱」をめぐって（第 29 回 イギリス・ロマン派学会全国大会 2003 年 10 月 12 日）

秋に寄せるオード」における“thy music”の意味するもの（第 120 回 関西コールリッジ研究会 2003 年 11 月 22 日）

## 福本 由紀子

〔口頭発表〕

「Winnie-the-Pooh における子ども部屋の考察」(日本イギリス児童文学学会研究大会 (於:愛知産業大学)  
2003年11月16日)

〔翻訳〕

『クエンティン・ハーター三世』エイミー・マクドナルド文、ジゼル・ポター絵 (BL出版 2003年6月)

〔著書〕

『現代英米児童文学評伝叢書 10 フィリッパ・ピアス』共著 (KTC 中央出版 2003年12月 (予定))

〔著書 (共著)〕

『Spotlight on Britain——イギリスを探る』共著 (南雲堂 2004年1月)

## 鈴木 豊子

〔論文〕

「暗黒悲劇からの浮上——『マクベス』から『アントニーとクレオパトラ』へ」(文学と評論社編『未来へのヴァ  
イジョン——英米文学の視点から』英潮社 2003年10月)

## 山東 資子

〔著書 (分担執筆)〕

鐘美堂編集部 *Standard Choice Readers* (1903) (『英語教科書の歴史的研究』) 小篠敏明・江利川春雄共編著 (辞  
游社 2002年3月)

〔口頭発表〕

Salinger の造語法についての一考察 (日本英語表現学会第32回大会 2003年6月21日)

## 越川 菜穂子

〔口頭発表〕

“Cousin Phillis” における Phillis と Paul の成長について (日本ギャスケル協会第15回大会 2003年10月5  
日)